

# 進捗報告書（実行団体）

事業名:	東北地方における食料支援体制の構築 事業
資金分配団体:	認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
実行団体名:	特定非営利活動法人フードバンク岩手
実施時期:	2021年3月～2022年2月
事業対象地域:	東北地方(岩手県、青森県、秋田県、宮城県、福島県、山形県)
事業対象者:	各県のフードバンク団体が支援している対象世帯

Version 1.2  
日付: 2021年10月8日

## I. 事業概要

事業概要
<p>【岩手県内の行政や社会福祉協議会等の支援機関を通じた食料支援】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>行政や社会福祉協議会など困窮者支援団体などと連携した食料支援(岩手県内)</li><li>市民や企業より食品募集を広く周知することにより食品を効果的に集めると共に貧困問題への関心を高める。</li><li>他地域(関東地方)のフードバンク岩手との食品の交換を行い地域間の差分を埋める</li></ol> <p>【東北各地のフードバンク団体へのアドバイスの実施及び食品提供】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>フードバンク岩手が東北地方の各フードバンク団体の支援や食品提供を行い安定的な食料を確保し、相談支援機関と連携し生活困窮者に食料を提供できる体制の構築。</li></ol>

## II. 進捗報告の概要

総括
本事業では当初の目標値を概ね達成できる見込みである、特に「食のセーフティネット」では事業開始以前と比べ生活弱者を取り巻く状況が一層悪化しており、想定して以上に食料支援のニーズが高く岩手県内の食料支援で使用する食品量も多くなっている。その為他県のフードバンク団体を支援できるまでの食品提供量にいたっていない。今後は他県の企業開拓も積極的におこなう必要がある。

## III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<ol style="list-style-type: none"><li>岩手県内の生活困窮者が支援機関を通じて食料支援を受けられる</li><li>フードバンク岩手で必要とする食品を集める</li><li>他地域のフードバンク団体との食品の交換により必要としている食品の確保が行える状態</li><li>東北のフードバンク団体の現状把握調査</li><li>東北のフードバンク団体へアドバイス</li><li>東北のフードバンク団体の食品寄付量増加とフードバンク岩手からの食料の提供</li></ol>	<p>支援機関からの要請に応じた食料支援「食のセーフティネット」に関しては半期で事業の目標値の8割程度まで達しており、コロナ禍によって困窮者が想像以上に増加している事がわかった。支援機関の相談窓口にもこれまでの就労時間の短縮以外にも解雇の相談が増えてきており今後さらに食料支援のニーズは増加する見込みである。食料支援のニーズに対応するための食品の確保が急務であり順調に食品寄付量が増加している岩手県内の市民や企業からの食品の寄付の他にも企業が集中する仙台を中心とする宮城県内の企業開拓も急務である。</p> <p>他地域のフードバンク団体の課題としては大きく2つあり、1つ目はフードバンクとしての食品管理等の知識に団体間で差があること、2つ目は福祉(特に生活困窮)に関する知識に乏しく行政や社会福祉協議会等との連携がとりにくい状況が確認された。その為今後は全体での勉強会も実施し、他団体と自団体との比較もできる様にし全体でのスキルアップをおこなう。</p>

活動	進捗状況	概要
<ol style="list-style-type: none"><li>岩手県内の困窮者支援機関等と連携した食料支援</li><li>市民や企業より食品を効果的に集める</li><li>関東・東海地方のフードバンク団体との食品交換</li><li>東北のフードバンク団体の現状把握の実施</li><li>東北各地のフードバンク団体へのアドバイスの実施</li><li>東北各地のフードバンク団体へ食品提供</li></ol>	ほぼ計画通り	<ol style="list-style-type: none"><li>支援機関からの要請に応じた食料支援は本事業の目標支援件数(2019年度の食料支援要請件数の2倍)である1020世帯(2160人)の8割程度である807世帯(1909人)を支援しているが今後も増加の見込み</li><li>新聞広告やチラシの配布により市民や企業からの食品寄付量は27506.18kgと目標60000kgの半数程度を集める事ができた、また食品回収BOXの設置箇所も12ヶ所増え市民や企業への食品ロスや貧困問題への関心も高まってきた</li><li>静岡県内のフードバンク団体より種類の提供が49kgあったが岩手から食品の提供には至っておらずこれからお米の収穫時期が過ぎ、岩手県内で提供する量を確保してから他地区への支援とする</li><li>現時点で連携がとれる10団体(秋田、石巻、仙台、いわき、八戸、鹿角、山形中央、多賀城、二本松、郡山の10団体)への現状把握は実施済</li><li>団体へのアドバイスは11回実施(秋田2回、石巻、仙台、いわき、八戸、鹿角、山形中央、多賀城、二本松、郡山)</li><li>東北各地のフードバンク団体への食品提供は事業実施時間中で20000kgを目標としているが現時点では1537kgとなっており他団体への提供量は少なくなっている</li></ol>

#### IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>岩手県内の「食のセーフティネット」はコロナ禍によって多様なケースを多く共有することによって支援機関との連携がより一層深まり生活困窮者への支援が効果的に実施できるようになってきた。生活に困った人や悩みごとを抱えた人たちが食料支援を求める事をきっかけに支援機関につながり伴走・よりよい支援が行えるようになってきた。今後も岩手県内の「食のセーフティネット」に関しては現状の活動を継続しながら支援機関支援員へ理解を深めて行くことによりさらに効果的な状態にしていく。しかし「食のセーフティネット」が効果的になってきた一方で必要とする食品の確保をより充実させる必要がある。</p> <p>各団体へのアドバイスにより徐々に支援機関との連携が撮れるようになってきている、しかし各団体の福祉(特に生活困窮者等に関する制度や行政、社会福祉協議会の役割など)に関する知識が足りないという現状が分かったので今後はそういった知識や理解を深める必要がある。</p> <p>また各団体が自団体の活動方法や食品管理が他団体と比較して学ぶ事ができていないため必要に応じ他団体への訪問も必要だと感じた。</p>	

#### V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥1,456,000	¥10,981,000	¥12,437,000	¥3,522,695	28%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥1,456,000	¥10,981,000	¥12,437,000	¥3,522,695	28%
補足説明		<p>旅費交通費と通信運搬費、消耗品費の消化執行率が低くなっているが、理由としては緊急事態宣言により他県への移動が実質できなくなり講師派遣が難しくなった事と計画通り食品は集める事ができているが岩手県内の食料支援要請に必要とする食品が増加し他団体への食品提供にいたっていない。</p>				

#### VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>事業実施にあたって県をまたぐ移動が必要であるが移動元移動先の感染者数によって訪問等が行えない事がある。また本事業に関わっている者がコロナ感染陽性者にならなくても、濃厚接触者になった場合に活動ができなくなり事業推進の阻害になる事があった。</p> <p>※フードバンク岩手の職員がその対象となった時に事業所に行くことができない場合や、各団体にアドバイス(特に食品衛生管理に関して)は現場を見ながらの説明になるため現地への訪問は必要)</p> <p>感染予防に必要とされる事を完全に行ってもリスク常にあり対応難しさを感じる(当団体職員には子どもがいる世帯も多く子どもからの感染のリスクもある)</p> <p>また食品の回収についても緊急事態宣言時には回収BOXを設置している施設等が閉鎖するなど食品が集まりにくい状況がある、今後は岩手県と各市町村の環境課とも連携し食品ロスをきっかけとした食品寄付の増加を促す。</p>

#### VII. その他

自由記述
<p>これまで2020年度当初から生活困窮者が増えてきている印象だが、国の政策によって食料支援の依頼にばらつきがあった、しかし2021年度に入ってから食料支援の依頼件数が昨年度の2倍になっており日に日に増加している。事業当初は解雇や倒産による失業は少なく、雇用時間の短縮による収入減少が食料支援要請の主立った理由だったが、最近では失業のよる困窮も増えており今後さらに増加する事は必至と考えます。</p> <p>可能であれば本事業の継続をお願い申し上げます。</p>

#### VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手日報新聞（2021/3/9号）にて「支援の輪を広げようvol.4」掲載</li> <li>・盛岡ロータリークラブ会報（2021/3/12発行）にて「フードバンク岩手の取組み」掲載</li> <li>・河北新報（2021/3/22号）にて「困窮者自立 食で支え」掲載</li> <li>・岩手日報（2021/4/3号）にて「沿岸スーパー5店舗にフードポスト設置」掲載</li> <li>・岩手日報新聞（2021/7/13号）にて「支援の輪を広げようvol.5」掲載</li> </ul>
広報制作物等	有	夏の緊急食料支援・回収のチラシA4版、制作時期：2021年6月末日、制作部数：3,000枚
報告書等	無	

## IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	